

ゆりはま 議会だより

Vol. 81

令和6年5月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら



当初予算審議	2
介護保険料アップ	9
町民の意見・提言	10
一般質問	13

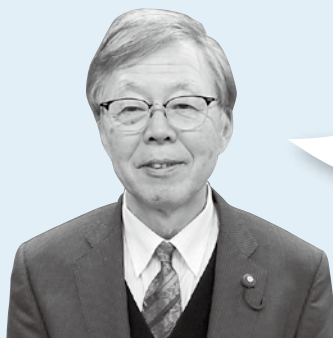
「泊駅に設置された
グラウンド・ゴルフモニュメント」
(JR泊駅)



桜コミュニティの満開桜

令和6年度予算特別委員会で、新年度の予算を審議しました。
議会の中で質問された内容の一部を紹介します。

過去3番目に高額な当初予算 117億9千万円



米田 強美
予算特別委員長

予算のポイント

- 令和6年度の当初予算額 約117億円
(対前年比14.5%増)
⇒過去三番目に高額な当初予算
- 自主財源の規模 約26億円
(全体の22.7%)
- ふるさと納税による寄付金 1.5億円
(前年度より2千万円減)

令和6年度一般会計予算への総括質疑

問 能登半島地震では、自治体職員も被災しながら支援にあたっているが、地域住民も助け合っており、集落作りが重要だと感じる。町事業で集落作りの支援拡充をしているが、手応えはどうか。

答 区長会で集落の困りごとについて協議することも増えてきている。地域の実態を知って動いていきたい。



光井 哲治議員

予算の詳細は「広報ゆりはま5月号」をご覧ください。



二十世紀梨を大切に する町づくり

108万円

議員の視点

梨を活用した地域振興や、情報発信の取り組みを支援する。

選果場では、作業員不足の慢性化と併せ、機械の不具合も発生している。どのような対応を考えているか。

答 機械の更新など具体的な話が出たら果実部・JAと協議し、責任を果たしていきたい。



寺地 章行議員

町ホームページを 刷新

949万円

町DX推進本部に外部専門人材のCIO補佐官を任命。DXを進めるにあたり助言、指導を受ける。また、デジタル社会に対応した暮らしやすいまちづくりのために、町ホームページを刷新する。

議員の視点



増井 久美議員

高齢者などデジタル機器が苦手な人たちは一定数いる。町の対応は。

答 スマートフォン講習会などで個別に対応しているが、身近な人に頼れるコミュニティづくりという点でも検討していきたい。

危険家屋除去を 支援

1617万円

危険度の高い空き家の除去に支援する。補助率4/5、上限200万円で10戸の予定。



スマホ教室

ふるさと納税を 推進

2億3784万円

ふるさと納税サイトの効果的な運営により、寄付金増加を推進する。議会からは、寄付金の使い道を報告するよう求めた。

有害鳥獣被害を減少

1368万円

議員の視点

町内で発生、拡大している有害鳥獣の農作物被害を減少させるため、侵入防止施設の整備助成や捕獲の推進を図る。

成果を上げるには、捕獲者に対する補助金を増額し、年間100万円程度の収入が見込めないと成果が出ない。

答 県の鳥獣対策センターなどの専門機関と連携し、事態把握しながら対策したい。



磯江 公博議員

たじりこども園新築移転

7億1053万円

旧北浜中跡地へ新築移転し、令和7年4月開園に向け建設工事を進める。遊戯室にもエアコンを設置。

(議員の視点)

議員と住民との意見交換会で要望のあった、他のこども園の遊戯室などへのエアコン設置は考えているのか。

答 年次的に設置していきたいと考えている。

1年に1園ずつ設置なのか、複数園なのか。

答 年度ごとに数園ずつ設置ができるよう財源確保など最善を尽くす。



小川 遊議員



河田 洋一議員



大きくなって卒園（ながせこども園）

保育士確保が 課題

519万円

こども園運営に関する事務を一元的にシステムで管理を行うことで、効率性を確保する。人材派遣会社へ保育士の派遣を依頼。

若者の視点でまちづくり

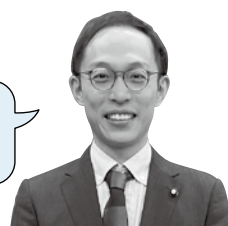
41万円

16歳から35歳までの若者で構成する「ゆりはま若者会議」を年6回開催する。町の課題解決や事業提案を行う。

(議員の視点)

若者を募集する際に、イラストや漫画で若者会議をアピールできないか。

答 今年度の実績を入れながら分かりやすく、親しみやすい工夫をし、アピールしていきたい。



中森 圭二郎議員

問 令和5年度事業の若者の提案を受けて、町はどう動いているのか。

答 ①観光面での町内滞在プラン、②公民館を拠点とした多世代交流の2つの提案を受けた。①については、既存の事業に工夫を加える形で取り組んでいく予定。②については、地域活性化推進員との連携を模索している。



不登校が過去最大

52万円

中学校での不登校は、令和6年1月末で7.2%と過去最大で深刻な状況。教職員と児童生徒の信頼関係の強化策として、専門家（大学教授）による指導を受ける。

議員の視点



松岡 昭博議員

答

不登校対策に積極的に対応しているとの事だが、改善しない理由は。

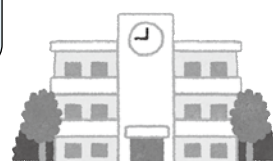
不登校の原因は多様で、なかなか絞り込めない。若い先生も増えており、きちんと研修を受けて取り組みたい。

問

研修も大切だが、学校事務の負担軽減など先生へのサポート体制の充実が必要では。

答

羽合小学校には、既に教員業務アシスタントを配置しており、新たに泊・東郷小学校にも配置を予定している。



スポーツ少年団でも中学生を受け入れ

遠距離通学児童へ補助

101万円

泊小学校の原、宇谷地区の遠距離通学児童に、路線バス定期券の購入補助。東郷小学校羽衣石地区では、児童を送迎する保護者へ補助を行う。保護者の経済的負担を軽減する。



部活動地域移行へ

179万円

部活動に地域の専門的指導者を配置し、部活動の活性化を推進する。また、部活動地域移行の検討会も実施する。

議員の視点



小川 遊議員

答

地域側でも検討をするために、町の考え方や方針を発信してほしい。

次回の検討委員会で、町としての部活動推進計画を示したい。

文化部活動も同様に地域移行していくのか。

答

文化部も運動部と同様に休日の地域移行を目指しており、地域の指導者人材へのアプローチをする。



増井 久美議員

福祉避難所災害時に備え 60万円

(議員の視点)

福祉避難所が災害時に開設、運営に必要な資機材、備品などを事前購入し配置する。

町と協定を結んでいる福祉避難所の数と、対象となる資機材はどのようなものか。

答 町内の高齢者施設など、福祉関係の施設18か所と災害時福祉避難所協定を結んでいる。施設の要望を聞き、発電機、折り畳み簡易ベッド、非常食など、1施設30万円の予算の範囲で支援を行う。



濱中 武仁議員



防災講習
(町防災訓練)



引きこもりの人の 社会参加を支援

引きこもりの人など、本人やその世帯の個別ニーズ・課題を把握し、社会参加を支援する。個別のニーズに対応できるよう、新たな地域団体を発掘する。

100万円

食と健康の まちづくり

48万円

「タニタ監修メニュー」を通じて、町民の健康と店舗への誘客をめざす。



町内飲食店のタニタ監修メニュー

防災、減債対策 を推進

773万円

防災体制の強化を図る高齢者施設、「グループホーム信生ゆりはまの里」の非常用自家発電設備整備に、国の交付金を財源に工事費用を助成し、施設利用者の安全を確保する。

民間事業者を支援し、災害に備える

1月臨時会

能登半島に町職員を派遣

・令和6年能登半島地震支援事業

97万円

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援のため、町職員を派遣。

支援物資の仕分け作業、避難所の運営、リ災証明書の発行業務などの業務支援を行う。この職員派遣に係る時間外勤務手当、旅費日当費。

プロジェクトの委員に報酬

・SDGs推進事業

5万円

「東郷池の豊かな恵みをつなぐ湯梨浜町Well-being ng」(※)タウンプロジェクト(仮称)」を立ち上げ、地域学

習・健幸づくり・DXなど7つの分野で官民一体となって取り組み、持続可能なまちづくりを推進する。活性化と生産者の所得向上を図る。

(※) Well-being
心も身体も社会的にも良い状態のこと。

3月定例会 補正予算

台帳にふりがな追記

・住民基本台帳番号制度システム整備事業

846万円

行政のデジタル化の推進に当たり、住民基本台帳法の一部改正が行われ、戸籍に記載された「氏名のふりがな」を追記するためのシステム改修費。

3月定例会 条例

納期を8期制から4期制に

・湯梨浜町税条例の一部を改正する条例について

国が定めた住民情報系システムの標準化に伴い、これまで8期制としていた町税納期(町県民税・固定資産税)について、令和7年度より4期制とする。

水明荘利用料金を見直し

・湯梨浜町国民宿舎水明荘事業設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

周辺施設との料金価格の差が大きいかことや全面改修による質の高いサービス提供を予定することから、利用料金を改定する。宿泊料を1人1万5000



第1期工事で改修された
西館ツイン客室

3月定例会 その他

水明荘 この夏リニューアル

1億5290万円

観光庁の補助金を活用し、水明荘本館・西館を改修するもの。第2期工事では、大浴場及

円以内に、休憩料を1人1日1500円以内に、その他、各室利用料を変更。

議会広報常任委員会 新しい委員長・ 副委員長が決定

3月31日付けで、中森圭三郎議員より辞職願が提出された。

これに伴い、議会広報常任委員会の委員会構成が変更になり、新しい委員長に小川遊議員、副委員長に増井久美議員が互選された。

び脱衣場の改修、客室のルームエアコンの設置、カードキー対応扉への改修などを行う。
この工事に伴い、5月8日から7月12日まで休館を予定。

中世荘園、山城を活かしたまちづくり

☆大阪府泉佐野市で「全国中世荘園サミット」が行われた。町内史跡活用参考にしていく旨の報告があった。

問 本町にも東郷荘絵図や十万寺所在城など、歴史的資源があるが活用できていない。

問 今後、史跡活用をどのように進めていくのか。

答 歴史的価値のあるものだけでは、集客につながらない。観光客をいかに誘導するかが鍵になる。

問 マイクロツーリズムとして、地元に残っている人が史跡を案内し、湯梨浜のファンを増やせないか。

答 現在、研修を受けた観光ガイドが、観光客に対してガイドをしている。



歴史ロマンあふれる羽衣石城

答 十万寺所在城などの国史跡指定に向けた準備を進めている。活用計画を作成し、歴史をテーマにした町内巡りなどを考えたい。

400万人の観光客を誘致

☆令和6年度から5年間の第3次鳥取県中部広域観光ビジョンが策定された。

問 内容はどのようなものか。

答 癒しをコンセプトに、令和10年度、入込客数400万人を目標にしている。

問 県立美術館、新コナニ館がオープンする。中部に宿泊してもらえよう、市町が連携を強化する必要があるのでは。

答 「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」の中で、検討を進めている。

下水道 将来に向けて広域化

☆下水道施設の老朽化、人口減少を見据えて、天神川浄化センターを含む29の汚水処理施設を統廃合、し尿処理施設の中部フリーンセンターの統合計画の説明があった。

問 議会が承知していない時点で、旧羽合町長瀬の地元で説明会を開催されているが、まず議会に説明すべき。

答 地元区長の会合が先行して開催されたので地元説明した。

問 将来的に検討すべきであるとの見解は理解できるが、この件は歴史的にも複雑な問題も絡んでいるため、慎重に進めるべき。

答 すぐに実施するとのことではないが、地元の意向を知る必要があった。

問 今後、どのように進めていくのか。

答 中部圏域の汚水処理をすべて天神川浄化センターに集約するだけでなく、中核処理場を複数設定する案なども検討する。

介護保険料、

月額540円の増

☆介護保険制度を円滑に実施するため、サービスや必要量を見込み、第9期介護保険事業と高齢者福祉の計画を策定。令和6～8年度の3年間の計画。

問 要支援・要介護認定者数の見込みは。

答 令和5年は962人で、9期の計画期間中も同程度で推移する見込みだが、給付費の緩やかな増は避けられない。

問 介護保険料はどうなるのか。

答 月額6740円を予定。8期に比べ基準額では540円の増となる。主な要因は、認定者数の増、老人施設への入所者数の増や介護報酬の改定などがある。保険料の上昇を抑制するため、基金を取り

崩す。

問 アンケートの配布・回収に手間が掛かるので、デジタル化の推進が大切では。

答 LINEでのフレイルチェック登録を始める。全戸に説明チラシを配布する予定で、スマホ教室も検討していく。

問 予防の観点を広げるようだが、具体的には。

答 フレイルの人だけでなく、65歳以上なら利用できる介護予防教室を実施する。

温室効果ガスを抑制

☆役場の施設を対象に、温室効果ガスの排出量を抑制する計画を策定。期間は8年間。

問 太陽光発電の設置やLED化など高い目標だが、財源はどう考えているのか。

答 有利な国の財源や、起債により整備する。

問 町内事業者や町民の取り組みの促進とは。

答 ホームページなどで町の取り組みを周知する。次のステップでは町民や地域への推進を計画し、地域に脱炭素の取り組みを広める。



太陽光発電は、設置可能な町施設へ50%以上をめざす
(とうごうこども園)

「こども家庭センター」の設置準備を開始

☆「子育て世代包括支援センター（母子保健）」と「子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）」を再構築。令和7年4月に「こども家庭センター」を設置し、サービスをワンストップで提供する。

問 今までの体制とどう変わるのか。

答 今までも「子育て支援課」に両方の業務があり、情報を共有しながらやってきた。新たな体制で、相談支援を強化する。

問 地域にある様々な団体との連携強化とは。

答 区長や民生委員との連携はもちろん、子育てに取り組むボランティア団体なども増やしたい。

新町川ポンプ場工事完成までは、浸水は治まらないか

問 新町川ポンプ場工事完成までは、浸水は治まらないのか知りたい。また、このことを広報を通じてPRしてはどうか。

答 ポンプ場の整備が完了して、一定基準までの排水処理が可能となる。詳細については、適時広報を行う。

過疎地域に関する意見交換会の開催を

問 東郷地域が過疎地域になった。町は集落に出向いて意見交換会をするべきだが。

答 令和4年に意見交換会を行って以降実施していないので、開催したい。

意見交換会の意見への対応は

問 このふれあい意見交換会で、発言した意見に対して、どのように対応されるのか。

答 出された意見については、議会で検討するとともに、行政の担当課にも伝え、議会だよりなどで明確に返事をする。

子育て支援の拠点化を

問 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援が一体化した「こども家庭センター」の設置を望む。

答 体制として「こども家庭センター」は設置される。施設整備に向けては今後検討していきたい。「こども家庭センター」については9ページを参照。



浸水対策工事が進む新町川

特定空き家の壊れた三角コーンの始末を

問 危険な家屋の周りに、町が設置し、壊れた三角コーンが5個ある。三角コーンを何とかしてほしい。

答 壊れた三角コーンを撤去し、新しいコーンを設置した。今後は、危険な家屋への現場確認を定期的に行うなど、同様の事案が発生しないよう努める。

こども園にエアコンを

問 夏が非常に暑かったが遊戯室にエアコンが無く、熱中症の危険があったと聞く。エアコン設置を求む。

答 予算特別委員会で議論した。「こども園へのエアコン設置」については4ページを参照。

中学生に安全な自転車通学を

問 幅が不足し自転車が通行できない歩道がある。安全な通学路の確保を。

答 自転車通学を想定し歩道を整備したが、ルール（自転車安全利用五則）の改定で通行できなくなった。中学校・担当課と対策を検討したい。

町民から寄せられた 「行政、議会に対するご意見、ご提案」について

「令和5年度ふれあい意見交換会」でいただいたご意見・提言を取りまとめ、所管委員会において協議を行った後の、議会としての回答や行政の担当部局などからの返答の一部をご紹介します。

意見交換会の参加対象者と周知方法は

- 問** 行政、議会に対する関心が薄れている多くの町民（特に若い人、女性）が、意見交換会へ参加されるよう周知方法の検討を。
- 答** 団体の代表の人に案内状を出し、一般の人にも、広報などを通じて案内をした。多くの人に意見交換会に参加していただけるよう、今後ポスター掲示やチラシ配布、他町の事例を参考にしながら改善していきたい。

議会の会議情報をわかりやすく

- 問** 議会の開会日程は通知されるが、議題をわかりやすく公開すれば、興味を持つ人が増えるのではないか。
- 答** 議会情報を来庁者に目につく1階フロアに掲示するなど検討したい。

民業圧迫では

- 問** 制服リユースとして、湯梨浜中学校の制服が無償で譲渡されており、町内業者は民業圧迫と感じた。このような行為は止めてほしい。
- 答** リユースは国も環境負荷低減のため推奨している必要な取り組みであるため、理解を求めたい。

良質な動画を配信できるのか

- 問** 議会の動画配信をYouTube化するにしても、いかに良質なコンテンツが迅速継続的に出せるかが問題。
- 答** 議会の動画配信については、速報議事録的なものと捉えている。今後迅速にアップしていくよう努力していく。



ふれあい意見交換会で活発な意見

燕趙園と東郷池周辺の来客増に向けて

- 問** 来客の増加に向け、日本最大級の中国庭園や東郷池周辺の施設を活かす工夫を。
- 答** 関係機関と連携の上、東郷池周辺が一体となった周遊性の高い観光地づくりを進めている。今後も、観光商品の造成とともに、ホームページなどを活用した情報発信に注力していく。

本会議での採決結果

3月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	米田	濱中	中森	光井	寺地	増井	信原	松岡	小川	磯江	結果
全議案	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	賛成9人 可決

※議案の採決は、河田議長を除く10人で行います。

請願・陳情審査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

陳情

件名	陳情者名	採決結果	委員会の意見
危険ドラッグの対策に係る意見書の提出について(陳情)	足羽 佑太	不採択	国は、THC(大麻に含まれる有害成分)と化学構造が類似する合成化合物を全て規制対象にする包括指定の導入を、既に検討しているため。
地方自治と沖縄の自己決定権を尊重し沖縄県との十分な対話で基地問題の解決に臨むことを国に求める意見書に関する陳情	沖縄に応答する会 代表 漆山 ひとみ	不採択 (賛成1人)	国として結論を出されたことであり、尊重されるべきである。また、町議会としても、今まで議論し方向が出ているため、改めて議論する必要はない。
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	小坪 慎也	継続審査	—
食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会 代表 雑賀 敏之	継続審査	—

ファクシミリ・電子メールでの提出も受け付けます！

請願、陳情の提出時に本人確認ができる書類を提出いただける場合は、ファクシミリ・電子メールでの提出が可能です。本人確認書類や記載内容、提出先など手続きに関することは町ホームページをご確認いただくか湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。

【電話】0858-35-5341 【ファクシミリ】0858-35-5342

【メールアドレス】ygikai@yurihama.jp



町政をただす



3月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問い質すものです。

質問時間は、答弁も含めて1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質問事項	ページ
光井 哲治	羽合土地改良区への補助金新設が必要	14
	能登半島地震の教訓を生かす対策を	
松岡 昭博	健康増進対策は	15
	耕作放棄地、町道法面の雑草対策を	
濱中 武仁	こども基本法への対応は	16
	防災対策の検証と見直しは	
米田 強美	人口減少対策、若年女性に焦点を	17
	建設業者の経営安定化を	
中森圭二郎	こども園の制服など、保護者負担を減らす努力を	18
	福祉の観点から制服リユースを	
増井 久美	防災対策の見直しを	19
	学校教育にジェンダー平等の考えを	

羽合土地改良区への補助金 新設が必要

町長

支援が必要と認識する



みつ 哲治
光井



羽合畑地灌漑用水ポンプ場施設

【光井】畑地の荒廃打開策を検討し施策を行って
いるが、歯止めはかかっ
ていない。羽合地域の不
耕作畑地の現状をどう捉
えているのか。

【町長】芝・さつまい
も・ネギの栽培などを行
い、荒廃打開策を講じて
いるが、不耕作地の減少
には程遠い状況。

【町長】同改良区へは、
平成27年度まで施設整
備、建設事業に対して
元利償還補助として支
援。東郷へは、維持管理
費など運営補助として
215万8千円を現在ま
で支給している。

【光井】同改良区の会計
構造は、早晩行き詰まり
が危惧される。運営補助
金の新設が急務ではな
いか。

【町長】老朽化が進行す
る農業施設が増加し、適
切な維持管理、運営がで
きるかが大きな課題。運
営には自治体の支援が必
要な時期に入ったと認識
している。

能登半島地震の教訓を 生かす対策を

町長

国に強化策を要望したい



災害対策強化が急がれる水道水源地

【光井】能登半島地震を
教訓に、防災計画を始め
とするハード・ソフト計
画の見直しが始まると
思う。

上水道の管路耐震計画
の進捗率は、2021年
で基幹管路で18・6%、
管路全体で9・8%で
ある。

わが町の上下水道耐震
化の整備加速が急務では
ないか。

【町長】上水道の耐震化
目標の達成には、今以上
の事業費の確保と、執
行体制の強化が必要で
ある。

下水道は、ポンプ場や
管路の耐震化に取り掛か
る。

【光井】上下水道の整備
が進むと支出が増える。
財政健全化とどう向き合
うのか。

【町長】下水道は独立採
算制に近づけるよう、国
費での十分な支援をお願
いしたい。

上水道は、自己財源で
の整備となり、大規模な
整備には企業債の活用を
検討。所管が国交省に変
わるので、一歩進んだ国
費での災害対策強化を要
望したい。

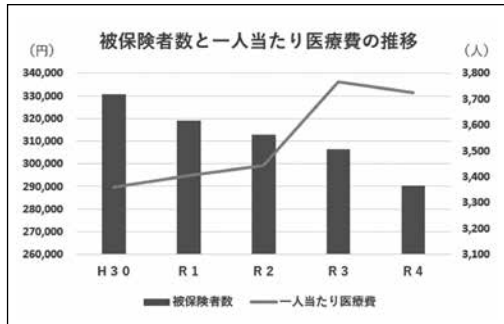
健康増進対策は

町長

まだまだ不十分



まつおか 松岡
あきひろ 昭博



1人当たりの医療費の推移

【松岡】本町では、生活習慣病の予防と早期発見・重症化予防のため、特定健診、特定保健指導に取り組んでいる。

しかし、令和4年度の健診率、保健指導率は目標55%に達していない。また、一人当たりの医療費は増加傾向にある。

健診率、保健指導率が低い理由と、医療費との関連をどのように考えているのか。

保健指導では、保健指導を受ける時間を確保できないなどが、保健指導率に影響している。

特定健診受診率、特定保健指導率の向上が将来的な医療費の抑制になると推察している。

【松岡】他県と連携して取り組んでいる健康事業の結果を、どう活かそうとしているのか。

【町長】飛び地型自治体連携プロジェクトで、意識の変化から習慣化につなげ、町民の健康づくりを推し進める好循環をつくりたい。

耕作放棄地、町道法面の雑草対策を

町長

土地所有者に適正管理を促す

【松岡】町内には所々に雑草が繁茂している耕作放棄地や、農家が除草している町道法面がある。

周辺の人達や農家から、雑草をなんとかしてほしいと相談がある。

町は、耕作放棄地の雑草管理を今までのように指導し、今後どのようにするのか。

【町長】雑草管理の苦情が寄せられた場合、農業委員会が、土地所有者に対して農地の適正管理を促している。今後も、同様に促していく。

【松岡】町は、町道法面の雑草を今までのように管理し、今後どのようにするのか。

【町長】除草業務をシルバー人材センターへ委託するなど、道路環境の維持に努めている。引き続き町道法面の雑草管理対策は行う。

たは、農業者などに委託する事業を創設してほしい。

【町長】所有者不明の場合、特別な理由のない限り町が直接行うことはない。

新たに、耕作放棄地の雑草管理の委託事業は考えていない。



雑草が繁茂する交差点

こども基本法への対応は

町長

課題が多く慎重に策定する



はまなか たけとし
濱中 武仁



おいしい給食いただきます
(わかばこども園)

【濱中】昨年4月に子ども基本法が施行された。本町の子ども政策の対応状況、「市町村子ども計画」の対応と策定方針は。

【町長】「こども大綱」及び県が定める「都道府県こども計画」を勘案して「市町村こども計画」を策定することになる。検討すべき課題も多く迅速な策定にならないよう慎重に進める。

基本法の内容を各学校に周知している。

【濱中】これまでに、新型コロナウイルスの影響などにより、町内こども園での3歳以上児への温かいごはんの提供ができないとする答弁があったが、改めて対応を伺う。

【町長】保育士、調理員とも人員確保が困難な状況が続いている。保育士の配膳の負担、米飯提供に係る設備改修、主食費の負担増加、それに伴う保護者負担についても再度検討しなければならぬ。

防災対策の検証と見直しは

町長

諸課題克服へ計画見直し

【濱中】能登半島地震を受け、町の防災対策の検証、見直しなど対応状況は。

【町長】県において能登半島地震の教訓を共有するため、町村も参加した検討会議が開催された。令和6年6月までに「鳥取県震災対策アクションプラン」を改定し、県と市町村の地域防災計画へ反映していく流れである。

【濱中】被災地では、断水が続いており、水道管の耐震化の遅れも指摘されている。

国は、2028年度末までに耐震適合率を60%以上とする目標を掲げて取り組まれているが、湯



耐震管へ布設替え

梨浜町の水道施設の耐震化の現状は。

【町長】平成29年度策定の、管路耐震化更新計画に基づき行っている。上

水道施設8か所を診断した結果、半数の施設で劣化度が高く耐震性が低かった。財源の問題、水道広域化・共同化議論もあり耐震化は遅れており、耐震適合率は20・2%である。

【濱中】耐震管への更新計画も策定されていると思うが、防災対策として、前倒しも必要では。

【町長】計画の現状は、11年までの7年間で21・6%上昇させなければ計画どおりにはならない。年間8千万円の予算で取り組んでいるが、財源の問題、土木技師不足、物価高騰など課題が山積みである。

人口減少対策、 若年女性に焦点を

町長

若い女性が魅力を感じる まちづくりを



よね だ つよ み
米田 強美

【米田】若い女性の東京圏への流入が、2014年以降男性を上回り続けている。これまでの人口減少の取り組みでは、男女の不均衡について関心が薄かったのでは。

少子化対策として、女性の流出をいかに少なくするか、町長の所見を問う。

【町長】2022年1月1日現在で、東京圏に住む20代～30代の女性人口は約425万人で全国の同世代の女性人口の約3分の1。

転出抑制や少子化を意識した、特に女性を重視しての対策は大切で、卒業後に地方に住みたくなるような魅力ある施策、地域社会づくりが重要と思う。

【米田】若者が都市圏に出る理由として、進学や就職の選択肢が多くあるが、内閣府の調査で、地方の女性差別的慣行が指摘される。女性が魅力を感じるまちづくりについて、所見は。

【町長】若い女性がまちに魅力を感じる要素としては、仕事やレジャーの充実も大切であるが、いかに自分らしく、いきいき、のびのびとした生活ができるかどうかという点が重要。

男女格差の解消に向けた取り組み、性の多様性が尊重される社会をつくる必要がある。女性の輝く社会、若い女性が魅力を感じるまちづくりの実現に努めたい。



女性が魅力を感じる社会を

建設業者の経営安定化を

町長

受注者の負担軽減に努める

【米田】公共工事の施工時期の平準化により、経営安定化や不落札の抑制など、受注・発注者共に効果が期待されるが、所見を問う。

【町長】施工時期の平準化については、担当課長、入札担当者に声をかけている。受注者・発注側の負担が軽減されるよう、引き続き努めてまいりたい。

【米田】年度当初の工事に向け、ゼロ債務負担行為（※）の活用について、所見を問う。

【町長】町が実施するハード事業は国や県の補助金などを財源としているものが多く、ゼロ債務負担行為により配分額が



急ピッチで解体が進む堀之内団地（松崎）

決定する前年度に発注・契約を行う方法は難しい。

【米田】町工事にあって、町所有地を借地した場合の借地料について、建設協議会と町とで継続協議となっている。算出方式は県に準じているとしているが、今後どのような協議を進めていくのか方向性を問う。

※ゼロ債務負担行為は、前年度に予算額ゼロ円の入札契約で、新年度当初から工事が可能となる制度。

【町長】現行の条例では、営利行為である工事のための土地使用料を減免することは不可能である。建設協議会にはご理解をいただきたい。

※ゼロ債務負担行為

前年度に予算額ゼロ円の入札契約で、新年度当初から工事が可能となる制度。

こども園の制服など、保護者負担を減らす努力を



なかもり けいじろう
中森 圭二郎

町長

保護者会で検討を

町立こども園で分かれる対応



こども園の制服は園によってさまざま

こども園体操パンツ
羽合・泊地域
→小学校でも使える
東郷地域
→小学校では使えない



町立こども園で分かれる対応

【中森】まつぎこども園で行っているような制

【中森】町立こども園で制服がある園、ない園と分かれている。園独自の取り組みは尊重すべきだが、保護者の経済的負担を減らす取り組みは必要だと思う。そこで、保護者に制服の購入を求める園では、制服の必要性をどう考えているか。

【町長】基本的な生活習慣を身につけたり、入卒園式などでは服装の心配がないなどの利点があり、着用を設けている園がある。しかし、絶対必要であるとは思わない。園と保護者会で検討してほしい。

服の譲渡会を他の園でも行っているのか。

【町長】今年度からは、とうとうこども園においてもリユースを始めた。保護者会と各こども園で検討していきたい。

【中森】羽合、泊地域のこども園では、小学校でも継続して使える体操パンツを使用している。東郷地域のこども園でも導入できないか。

【町長】小学校に入学する際の経済的負担の軽減になる。その一方で小さな子どもには動きにくいという声もある。保護者会で十分に検討し対応していく。

福祉の観点から

制服リユースを

教育長

中学校でリユースを予定

【中森】昨年に、町内で中学校の制服リユースを呼び掛けたところ、身体が成長し制服のサイズが合わなくなったなどの理由で中古の制服の譲渡会に関心を持って、10組以上の人が来場した。その中には生活に困っている人もいた。サイズが合わなくなった場合、再度購入する補助金などはあるか。

【教育長】本町の就学援助制度で支給される額の範囲内で制服の購入は可能である。在学中にサイズが合わなくなっても新調する費用の支給はない。今後、湯梨浜中学校

では制服などのリユースを行う予定をしている。

【中森】倉吉市の社会福祉協議会では、経済的に困っている人に向けて、制服のリユースを行っている。湯梨浜町でもニーズを調査し、早急に仕組みを作ってはどうか。



秋に開催された制服譲渡会（藤津）

【町長】制服のリユースは保護者負担の軽減や、循環型社会の推進を図ることにつながる。一方で制服販売業者の理解が得られるかなどの課題もある。町における制服リユースの在り方についてベストな方法を調査・研究してみたい。

防災対策の見直しを

町長

女性の意見を取り入れることは重要



ますい 久美
増井



福祉避難所になるハワイアロハホール

【増井】本年1月1日に能登半島地震が起き、大変な被害をもたらした。現在でも避難所生活を送っている人、断水しているところなど困難が続いている。

この地震を教訓に防災対策を見直すべきではないか。特に水道管の破裂による断水への対策は。

【町長】大規模地震の断水対応については、広域的な連携や住民生活への影響を抑えるための体制整備、給水能力の確保に努めなくてはならないと考えている。

【増井】孤立する可能性がある集落は。

【町長】県は羽衣石、麻畑地区を想定している。

【増井】避難所に女性の視点を。

【町長】防災対策に女性の意見を取り入れることは重要であると考えている。

【増井】避難所は足りているのか。

【町長】収容人数を超える避難所があれば、町内や近隣市町避難所への避難を調整したい。

学校教育にジェンダー平等の考えを

教育長

各学校で学習中

【増井】3月8日は国際女性デーであり、日本は男女の格差については先進国の中でも下位に甘んじている。

女性の地位を向上させるには学校での教育が大きな力となると考える。

学校におけるジェンダー平等の教育はなされているか。

【教育長】ジェンダー平等の教育は、各学校で学級活動、道徳、体育、保健体育などを通して行っている。

【増井】性教育はしっかりとなされているか。

【教育長】性教育については、各学校において、学習指導要領に沿いながら適切に指導されている。



多様性が求められる制服

【増井】中学校の制服をジェンダー平等の観点から考え直してはどうか。

【教育長】中学校の制服については、開校時に決められた制服を、全員が

着るようになってから3年を経過したばかりであり、変更については考えていない。

町民インタビュー

「支えたり、支えられたり。人が一番大事」

学校支援ボランティア 松原 厚子 さん



今回の町民インタビューでは、学校支援ボランティアをはじめ、子どもたちをサポートする多くの活動に長年携わっている松原厚子さんにインタビューしました。

子どもたちをサポートする活動を始めたきっかけは何ですか？

自分の子どもが小学生の時のPTAをきっかけに、それからずっと子どもたちのサポート活動をしています。

学校支援ボランティアや保育、絵本の読み聞かせ、地域での遊び場、青少年育成などの活動に携わっています。

たくさんさんの活動は大変ではないですか？

子どもが好きだし、子どもだけでなく人が好きで、特に話をするのが好きなので楽しんでやっています。話をしてみると相手のことが分かることがたくさんあり、それが自分の刺激や成長になっています。

これから、自分が動くことで子どもたちのサポートになるなら活動を続けていきたいと思っています。

活動をする中で大切にしていることを教えてください。

活動を続けている中で嬉しいことは、そこで出会った子どもが大きくなって、町で声をかけてくれることです。つながりが広がっていることをありがたく感じます。

サポートするというよりは、させてもらっていると考えています。支えられたり、支えたりしながら、人と人とのつながりを大事にして、これからも活動していきたいと思っています。

ありがとうございます。



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

6月11日(火)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

今回の議会だよりも多くの方にお読みいただき、誠にありがとうございます。

今回の号では、特に予算特別委員会、ふれあい意見交換会での意見に対する回答など掲載させていただきました。

町の発展や暮らしをより良くするためには、議会だけでなく、地域の皆様の意見や声をしっかりと受け止め、それを活かすことが大切です。今後も町議会は、皆様との協力を通じて、より良い町づくりに取り組んでまいります。

ご意見やご要望がありましたら、お気軽にご連絡ください。

今後も、議会だよりをどうぞよろしく願い申し上げます。

(記 濱中)

【編集】

議会広報常任委員会